



取 付 説 明 書

HONDA
STEP WGN RF3

BLITZ

[1]安全上のご注意

■ はじめに

- ・ この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・ 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。
- ・ キットの構成部品はパーツリストに記載してあります。取り付け前に異品・欠品の無いことを確認してください。

■ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・ 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・ バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
- ・ 部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。
【二柱式リフトをお勧めします】
やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジトラック(馬、安全スタンド)を併用して安全に作業してください。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対に行わないでください。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷また中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・ この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・ この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良や空気漏れの原因になります。
- ・ この製品の加工・分解・改造は行わないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり強いショックを与えないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちたりする事があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適当な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

重要事項

- ・ この製品はノーマル車輛を基準に製作されています。
ノーマル車輛以外に取り付けた場合は、製品の機能・性能及び安全性・耐久性について保証いたしかねます。
- ・ 製品装着時は、異物が混入しないよう、十分に注意をしてください。
異物等が混入すると最悪の場合エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 純正部品の取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでからおこなってください。
整備要領書がお手元にはない場合はメーカーにてご購入ください。
- ・ 走行前には、オイル・冷却水・排気ガス等の漏れがないか点検を行ってください。
漏れのある状態での走行は、車輛火災やエンジン破損等の恐れがあり危険です。
- ・ このキットはハイオクガソリン指定となります。
レギュラーガソリンを使用しますとノッキング等を発生させ、最悪の場合エンジン破損の原因になる場合がありますので、必ずハイオクガソリンを使用してください。
燃料タンクのガソリン入れ換え作業は危険を伴いますので、特に火気に注意してください。
- ・ 本キットを取り付ける際は必ず点火プラグを熱価の高いものに交換してください。
- ・ 本キット内部品の加工・分解・改造は絶対に行わないでください。
場合によっては燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合、エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 本キット内の、41. フューエルコントローラは、絶対に分解・改造はしないでください。分解・改造した場合、燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合はエンジン破損の原因となります。
- ・ フューエルポンプASSY(樹脂部分)を削り加工する作業がありますが、加工作業後はフューエルポンプASSYを十分に洗浄し加工粉などを完全に除去してください。加工粉などがフューエルポンプASSY内に残っていると、エンジン始動不良、エンジン不調等の原因になる場合があります。

【作業の方へお願い】

作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

作業にとりかかる前に必ず下記の点を点検してください。

■純正のホースやバンド等の部品に変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら純正品の新品に交換してください。

[2]適合車種

◇製品名称: BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

□車 名: HONDA STEP WGN

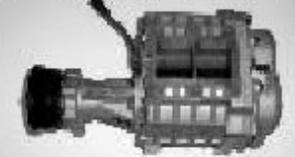
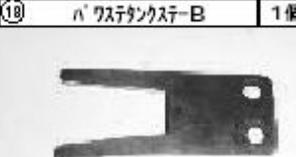
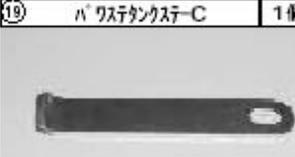
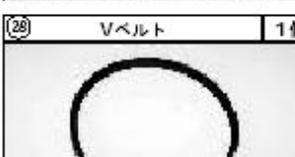
□型 式: RF3 AT車 2WD

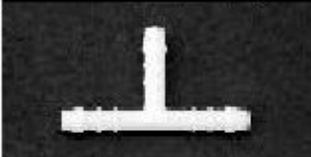
□E/G型式: K20A

□年 式: 2001年4月～2003年5月

□製品番号: 10129

[3] パーツリスト

構成部品及び付属品リスト			
① コンプレッサー本体 1個	② チャンバー 2個	③ ガasket 2個	④ コンプレッサー Bracket A 1個
			
⑤ コンプレッサー Bracket B 1個	⑥ テンショナープーリ 1個	⑦ プーリー(バーステ) 1個	⑧ テンショナーボルト 1個
			
⑨ アイドラー (インナー) 1個	⑩ カラ(テンショナー Bracket) 1個	⑪ テンショナー Bracket A 1個	⑫ テンショナー Bracket B 1個
 外径φ22 内径φ12 高さ15.7	 外径φ24 内径φ10 高さ23		
⑬ テンショナー Bracket C 1個	⑭ リザ-バ-タンクスター-A 1個	⑮ リザ-バ-タンクスター-B 1個	⑯ リザ-バ-タンクスター-C 1個
			
⑰ バーステタンクスター-A 1個	⑱ バーステタンクスター-B 1個	⑲ バーステタンクスター-C 1個	⑳ 吸気温センサーステー 1個
			
㉑ エアクリーナーステー 1個	㉒ アジャスターボルト 1個	㉓ カラ(コンプレッサー Bracket) A 1個	㉔ カラ(コンプレッサー Bracket) B 1個
		 外径φ18 内径φ6.5 高さ7.5	 外径φ18 内径φ6.5 高さ6
㉕ パワステホース用パイプ 1個	㉖ インテークパイプ 1個	㉗ サクションパイプ 1個	㉘ Vベルト 1個
			
㉙ SUSパワー-LM コア 1個	㉚ SUSパワー-LM ガブラー 1個	㉛ リレーハーネス 1個	㉜ クラッチ用スイッチ 1個
			

33 T型キャップ $\phi 8-\phi 4-\phi 8$ 1個 	34 シリコンホース $\phi 60$ 1個 	35 シリコンホース $\phi 70$ 1個 	36 異型シリコン $\phi 60-\phi 70$ 2個 
37 ホースバンド小 4個 	38 ホースバンド中 4個 	39 ホースバンド大 4個 	40 コンプレッサープレート 1個 
41 フューエルコントローラー 1個 	42 O2センサーコントローラー 1個 	43 レギュレーター 1個 	
44 無鉛プレミアムステッカー 2枚 45 取付説明書 1部 46 フランジボルトM6×30 6ヶ 47 フランジボルトM8×20 2ヶ 48 小型六角ボルトM10×45 2ヶ	49 コルゲートチューブ 2000mm 50 フランジボルトM6×8 2ヶ 51 キャップボルトM6×20 2ヶ 52 フランジボルトM8×50 1ヶ 53 フランジナットM10 1ヶ	54 タイラップ L100mm 10本 55 フランジボルトM6×16 11ヶ 56 フランジナットM6 3ヶ 57 フランジナットM8 2ヶ 58 平ワッシャーM10 2ヶ	59 タイラップ L200mm 10本 60 フランジボルトM6×20 2ヶ 61 フランジボルトM8×16 2ヶ 62 フランジボルトM10×35 3ヶ 63 フランジナットM12 1ヶ

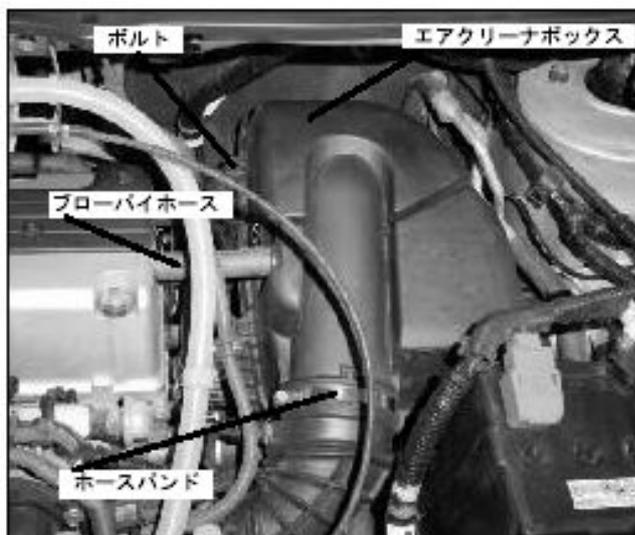
〔4〕 純正部品取り外し作業



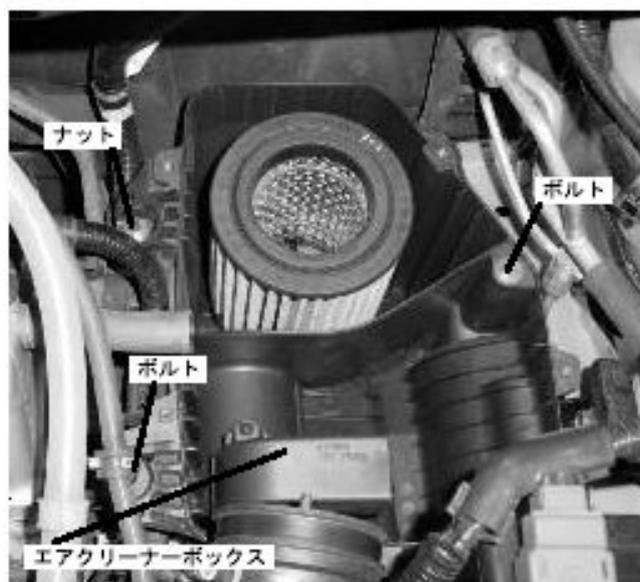
- (1) バッテリーのマイナス端子を取り外す。
- (2) 純正ボルト(2ヶ)を取り外し、インテークマニホールドカバーを取り外す。



- (3) ブースト計を取付けする場合には図のゴムホースをカットし付属の、**(33)** ニップルを割り込ませブースト圧を取って下さい。



- (4) エアクリナーボックス取外し
(ア)ホースバンド、ブローバイホース、ボルト(5ヶ)、をはずし、エアクリナーカバーを取外す。



(イ) ボルト(2ヶ)、ナットをはずしてエアクリナーボックスを取外す。



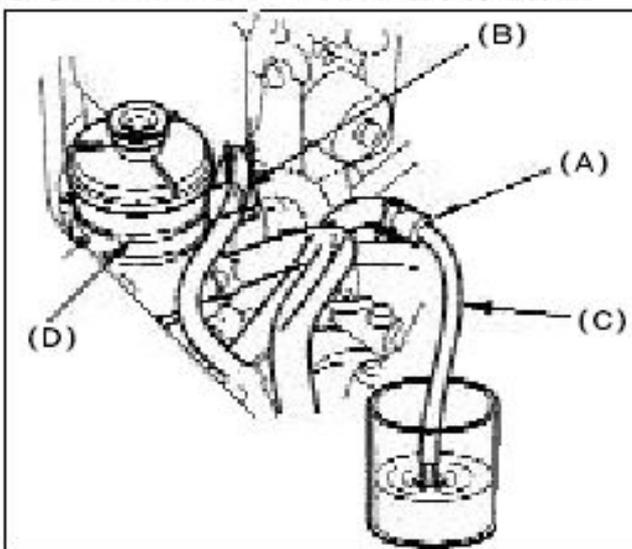
(ウ) 吸気温センサーのカプラー、ホースバンドをはずし、サクシヨンパイプを取外す。取外したサクシヨンパイプから吸気温センサー(センサー部)を取外す。

注意 ゴミ、ホコリ等が入らないように注意して下さい。



(エ) 取外したエアクリナーボックスの写真部分のゴムブッシュを取外す。メッキのカラーも外しゴムブッシュのみにして下さい。後ほど吸気温センサー取付で使用します。

〔5〕コンプレッサーキット取り付け作業

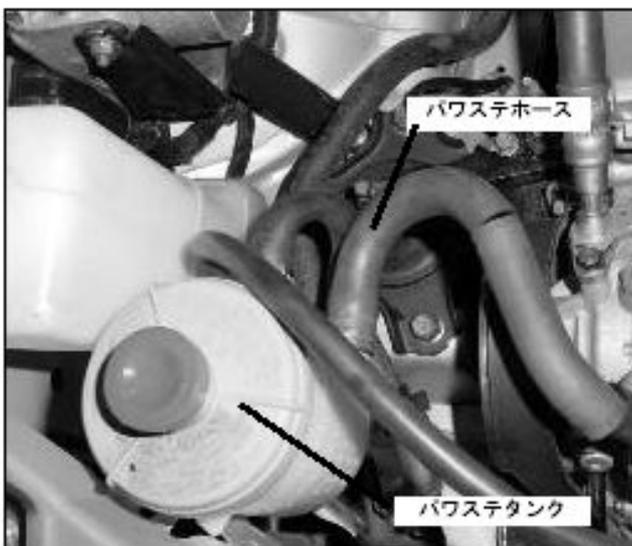


(1)プーリ (パワーステアリング) 取付
 (ア)リターン ホース(A)をリザーバータンク側で抜き、タンク内のオイルを抜きタンク(B)に栓をする。

(イ)外したホース側に適当な径のホースを接続する。(C)

(ウ)適当な容器を用意する。

(エ)エンジンを始動してアイドリング状態を保ち、ハンドルを左右いっぱいにゆっくりと回してフルードを抜き取る。

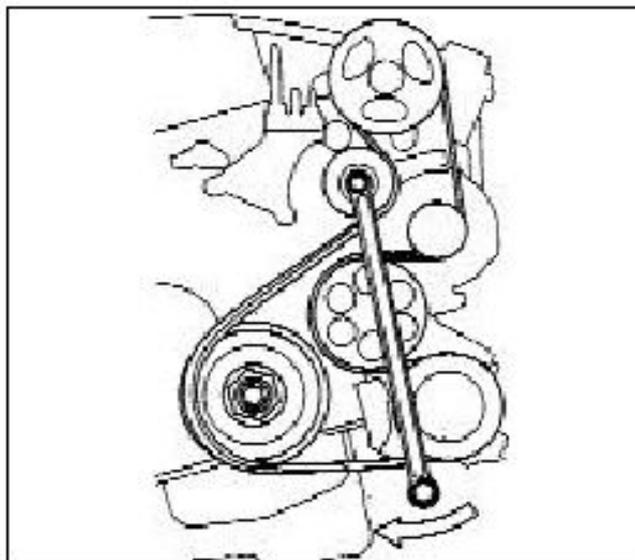


(カ)写真のパワステホースを取外す。その後、フレームよりパワステタンクを取外す。

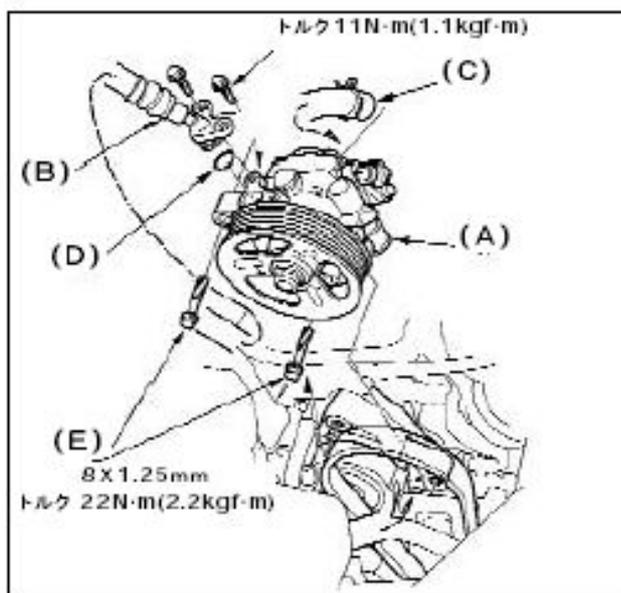
注意 ゴミ、ホコリ等が入らないように注意して下さい。動作不良の原因になります。



(キ)リザーバータンクをフレームより取外し、フリーにする。



(ク)オートテンショナーのボルトにレンチを取付け、矢印の方向に動かし、ベルトを取外す。



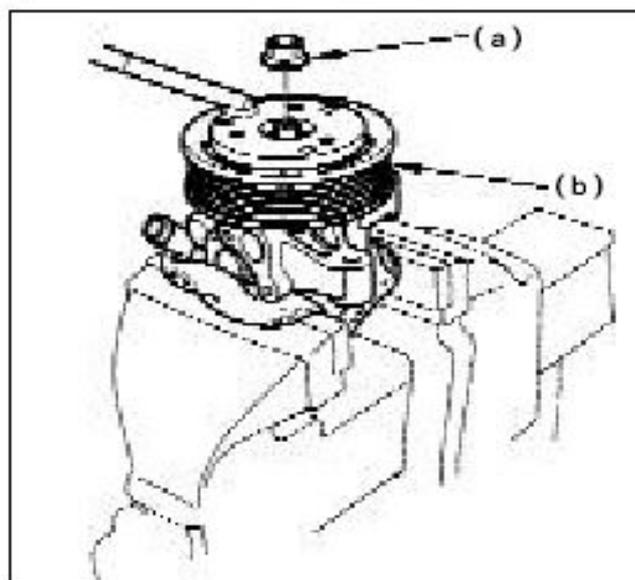
(ケ)ポンプ(A)からフィードホース(B)とサククションホース(C)の接続を外し、外したホース口に栓をする。

(コ)ポンプマウンティングボルト(E)を外してポンプを取り外してください。

注意

ポンプを外した後、ステアリングホイールを操作しないでください。

(サ)プーリを回してポンプ内のフルードを抜取る。



(シ)図のようにプーリ(b)を保持してプーリナット(a)を取り外してください。

(ス)付属の⑦プーリ(パワステ)をパワステポンプにはめ込み、プーリナットを締め付けてください。

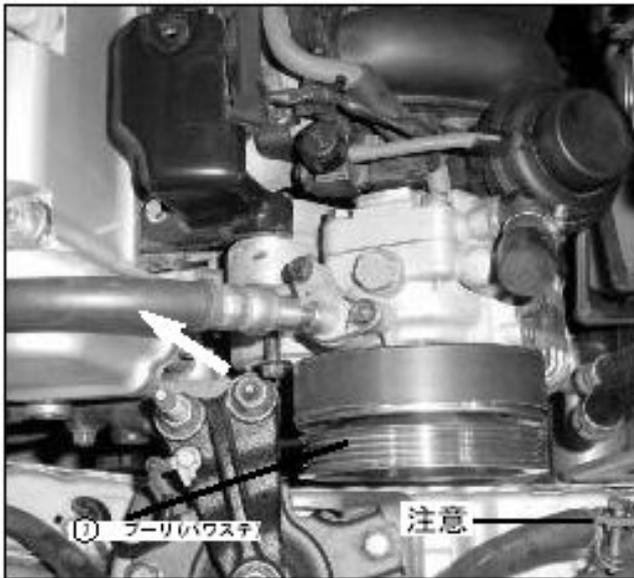
(トルク 64N·m (6.5Kgf·m))

注意

ネジ部にネジロック剤を塗布して下さい。

注意

バイスなどに固定する場合は、保持する箇所にウエスなどを介して下さい。

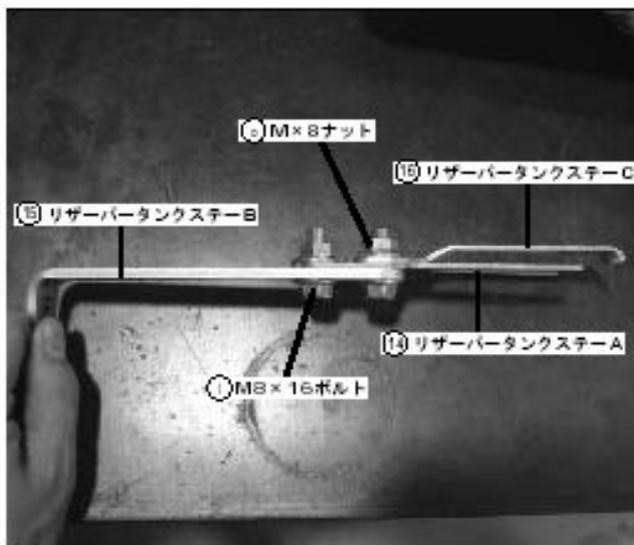


(セ)パワステポンプを取外しと逆の手順で組み付けてください。

※9ページの(D)部 Oリングは取付後漏れがある場合には新品と交換してください。

注意 パワステホースがプーリと当たりますので外側に押し曲げてください。

(ソ)純正Vベルトを取付ける。



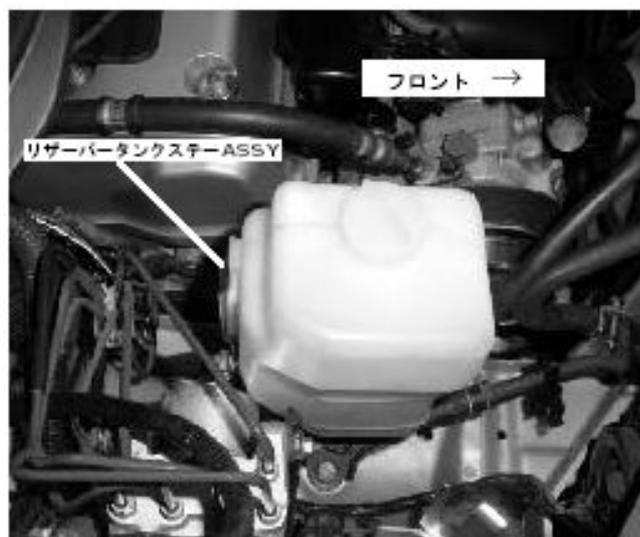
(2)リザーバタンク取付

(ア)写真を参考に⑭リザーバタンクステーAを⑮リザーバタンクステーBと⑯リザーバタンクステーCで挟み、⑧M8×16ボルトと⑧M8ナットで仮止めする。

注意 ステーは曲がりやすいので注意して下さい。



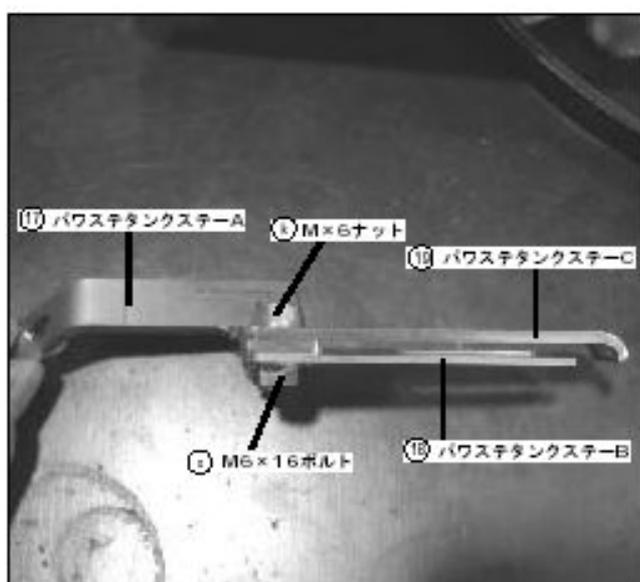
(イ) (ア)で組付けしたリザーバタンクステーASSYを写真の位置に、付属の⑬M8×20ボルトで仮止する。



(ウ)リザーバータンクを⑭リザーバータンクステーAに差し込み、⑯リザーバータンクステーCをリザーバータンクのくぼみに合わせ、締め付けてください。

注意 ⑯リザーバータンクステーAに差し込む際、奥までは差し込みません。少しきつめに差し込んだところで止めてください。

注意 締め付け後、ガタがある場合には一度外して、⑭リザーバータンクステーA、⑯リザーバータンクステーCの隙間が小さくなるように手で押し曲げてください。



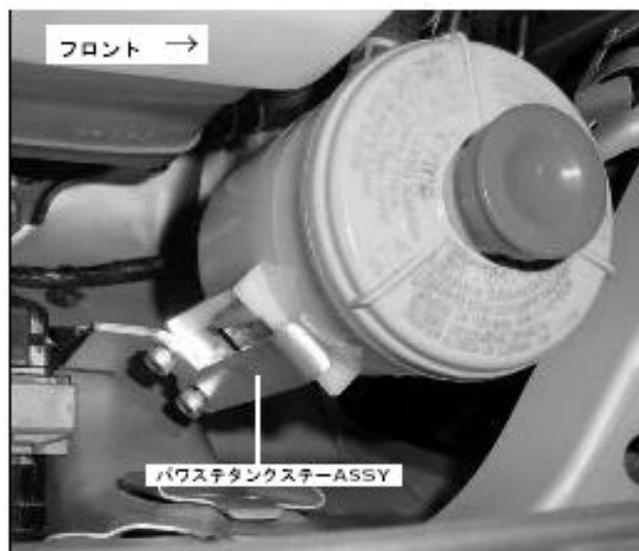
(3)パワステタンク取付

(ア)写真を参考に⑰パワステタンクステーAを、⑱パワステタンクステーBと⑲パワステタンクステーCで挟んで、⑰M6×16ボルト、⑰M6ナットで仮止めして下さい。

注意 ステーは曲がりやすいので注意して下さい。



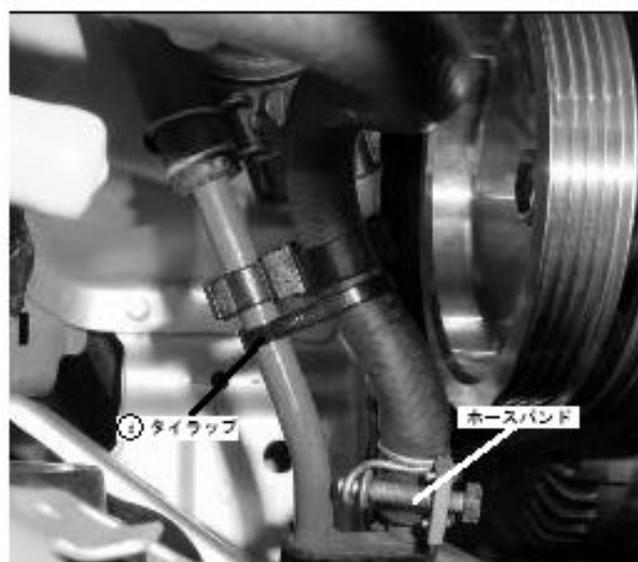
(イ)(ア)で組付けしたパワステタンクステーASSYを、写真の位置に付属の⑰M6×20ボルトで仮止めしてください。



(ウ)パワステタンクを⑱パワステタンクステーBに差し込み、⑲パワステタンクステーCを引っかけて、本締する。フレーム等に干渉させず、水平に取り付けてください。

注意 ⑱パワステタンクステーBに差し込む際、奥までは差し込めません。少しきつめに差し込んだところで止めてください。

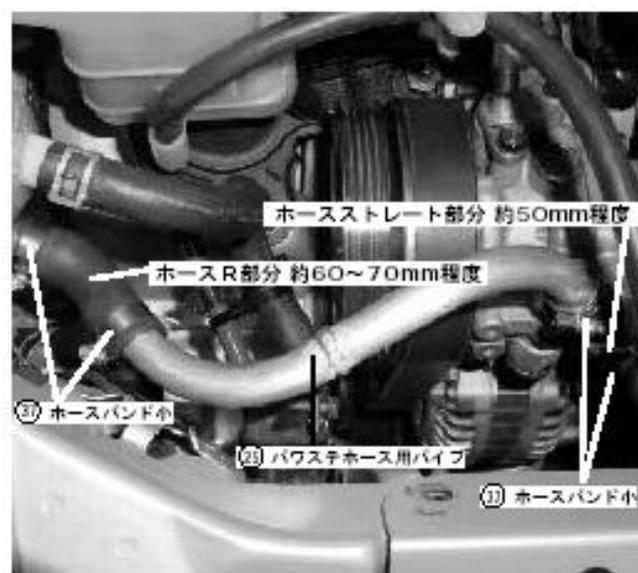
注意 締め付け後、ガタがある場合には一度外して、⑲リザーバータンクステーB、⑳パワステタンクタンクステーCの隙間が小さくなるように手で押し曲げてください。



(エ)9ページ(イ)で外したパワステホースをパワステタンクに取り付けてください。

※パワステホースにねじれがあるようでしたら写真のホースバンドを緩め、ホースを回してから再度ホースバンドを締め付けてください。

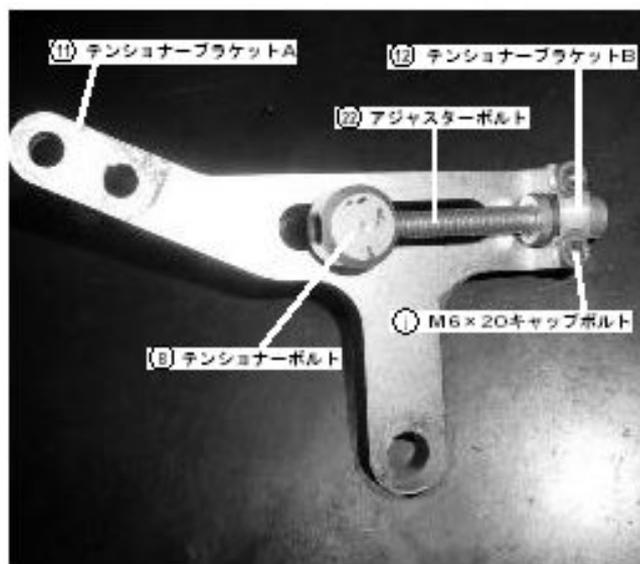
※パワステホースをプーリーに当たらないように写真を参考に、d タイラップで固定してください。



(オ)9ページ(カ)で外したパワステホースをカットし、付属のeパワステホース用パイプ、gホースバンド小で取付ける

注意 ホースをカットする際には、eパワステホース用パイプとしっかり合わせてから慎重にカットしてください。

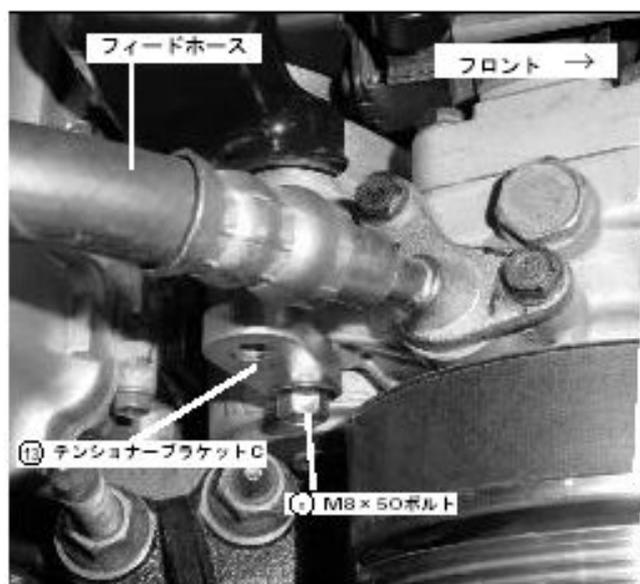
注意 付属のgホースバンド小は締め込みすぎますとパワステタンク、パワステポンプの樹脂部が変形したり、割れてしまいますので注意して締め付けてください。



(4) テンショナーブラケット取付

(ア) (11) テンショナーブラケットA組立

図のように (8) テンショナーボルト、(11) テンショナーブラケットA、(12) テンショナーブラケットB、(22) アジャスターボルト、(j) M6×20キャップボルトで組み付ける。



(イ) (13) テンショナーブラケットC取付

パワステポンプ・フィードホース下のM8ボルトを外し、付属の(13)テンショナーブラケットCを、(n) M8×50ボルトで仮締めしてください。

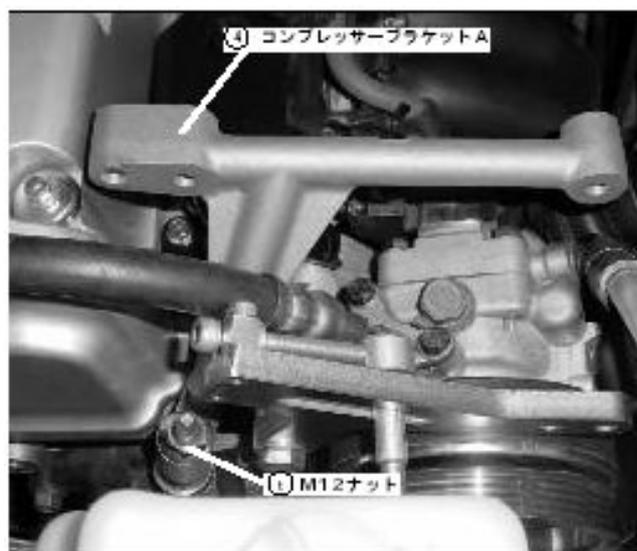
※(13) テンショナーブラケットCは、φ9側がパワステポンプ側です。



(ウ) 図の様にテンショナーブラケットASSYを、

付属の(10)カラー(テンショナーブラケット)を挟んで(q) M10×45ボルト、(s) M10ワッシャーで仮締めする。

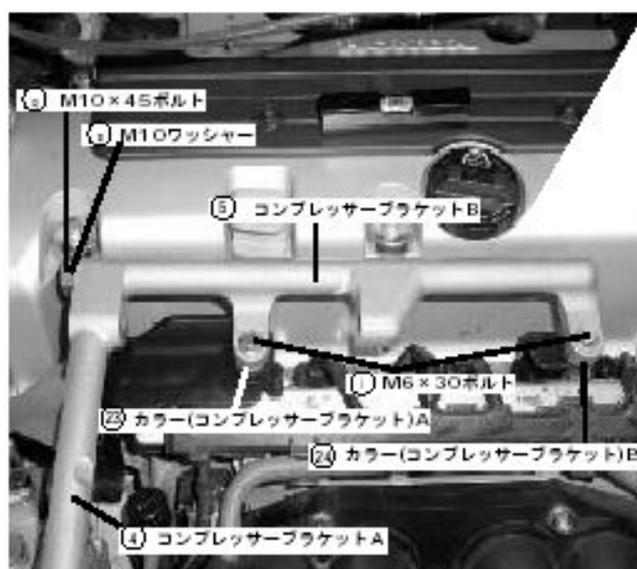
※(q) M10×45ボルト、(s) M10ワッシャーは(11)テンショナーブラケットA側から締め付けます。



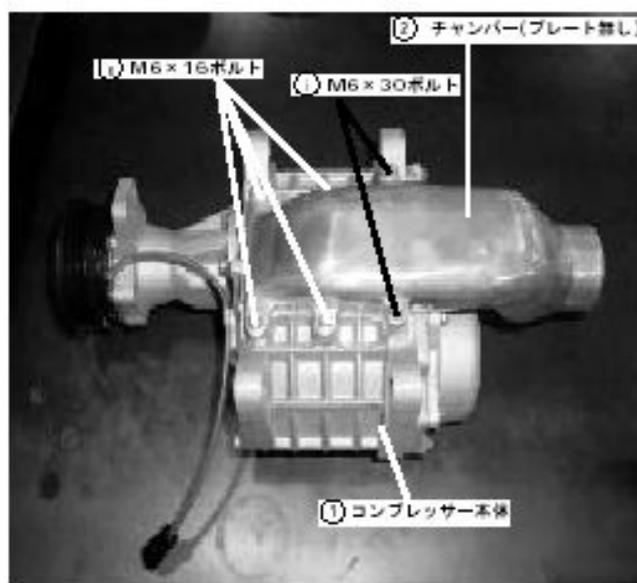
(5)コンプレッサー本体取付

(ア) ④コンプレッサーブラケットAを、エンジンマウント・ブラケットを止めているM12ボルトに、①M12ナットで仮止めする。

※④はエンジン・マウントの純正ナットの上から取付る。



(イ) ⑤コンプレッサーブラケットBを、②M10×45ボルト③M10ワッシャーで仮止めする。⑤コンプレッサーブラケットBとインテークマニホールドカバーステーの間に、②③カラー(コンプレッサーブラケット)A、④カラー(コンプレッサーブラケット)Bを挟んで①M6×30ボルトで仮止めする。

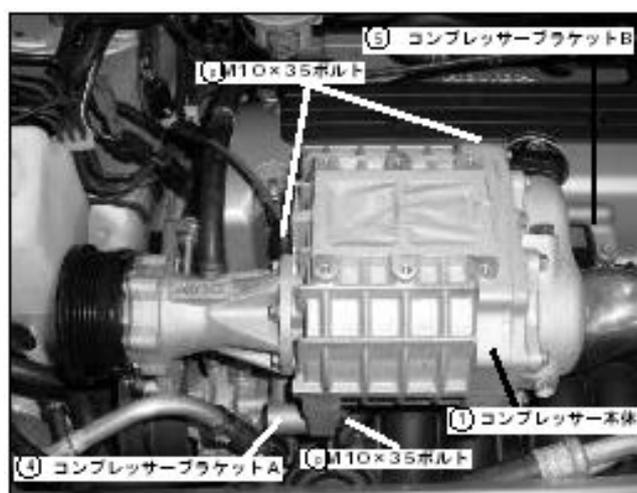


(ウ) ①コンプレッサー本体に、②チャンバー(プレート無し)をコンプレッサーステー側に取り付ける。

写真を参考に①コンプレッサー本体と②チャンバー(プレート無し)の間に、③ガスケットを挟み、④M6×16ボルト、①M6×30ボルトで締付ける。

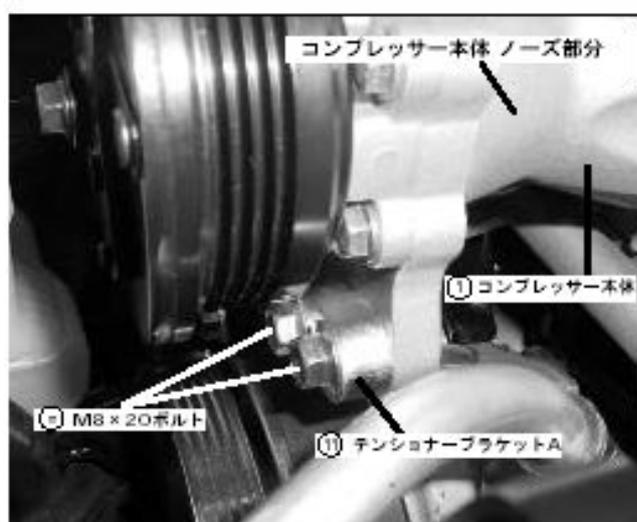
※ トルク=9.0N・m(0.9kgf・m)

注意 チャンバー取付面にキズをつけないよう注意して作業してください。



(エ) (1)コンプレッサー本体を(4)コンプレッサーブラケットA、(5)コンプレッサーブラケットBに(p)M10×35ボルト(3箇所)を使用して取付ける。(p)M10×35ボルトはコンプレッサーステール側から仮止めする。

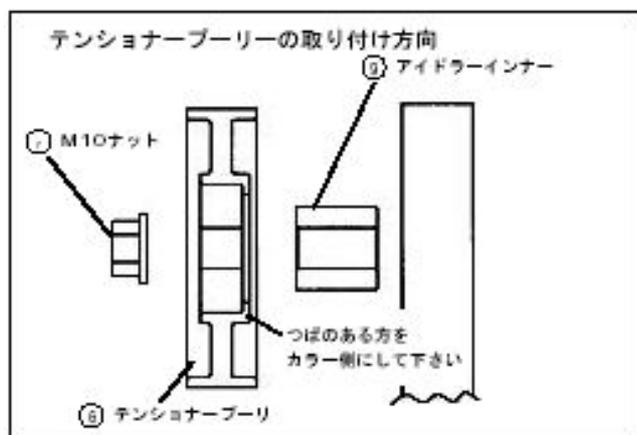
※後でベルトを掛けますが、入れずらいため、コンプレッサーに遊びがある時に、コンプレッサープーリと付属の(7)プーリ(パワステ)に(28)Vベルトをあらかじめかけておいても構いません。



(オ)コンプレッサー本体のノーズ部分に、(11)テンショナーブラケットAの穴位置を合わせ(m)M8×20ボルトで仮止めする。

※コンプレッサー本体のプーリが純正プーリとほぼ並行になるところで保持し、仮止めだった箇所を本締めして下さい。

- | |
|-----------------------|
| (i) M6×30 |
| ※ トルク=10N・m(1.0kgf・m) |
| (m) M8×20、(n) M8×50 |
| ※ トルク=23N・m(2.3kgf・m) |
| (p) M10×35、(q) M10×45 |
| ※ トルク=38N・m(3.8kgf・m) |
| (t) M12ナット |
| ※トルク=55N・m(5.5kgf・m) |



(カ) (11)テンショナーブラケットAに取付た(8)テンショナーボルトに左図を参考に(6)テンショナープーリを取付ます。(6)テンショナープーリと(11)テンショナーブラケットAの間に(9)アイドラーインナーを挟み、(r)M10ナットで仮止めして下さい。

(6)テンショナープーリの遊びは、大きめにしておいてください。

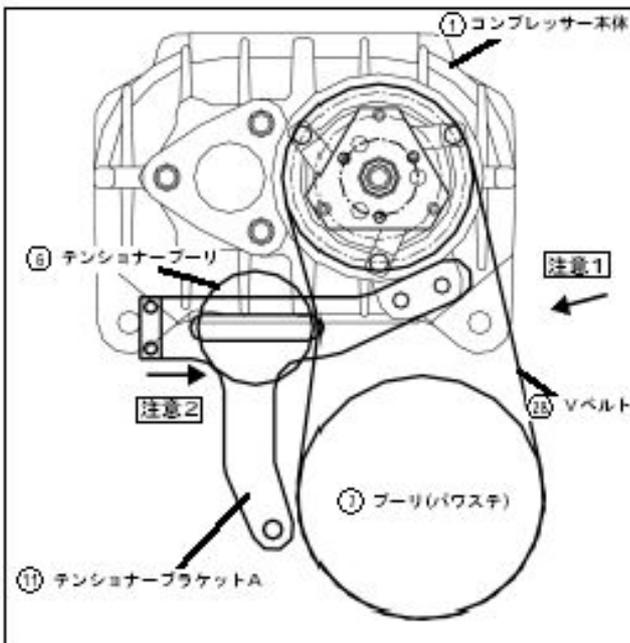
注意 6.テンショナープーリには向きがありますので上図を参考に注意して組付けてください。



(キ) ⑪ テンショナーブラケットAに組付た、⑫ アジャスターボルトを回し、⑬ テンショナープーリをエンジン側に寄せてください。

⑭ Vベルトをコンプレッサープーリの方からかけ、次に⑮ プーリ(パワステ)側にかけてください。

どうしてもベルトがかからないときには、① コンプレッサー本体に遊びを作ってから再度、取付けてください。



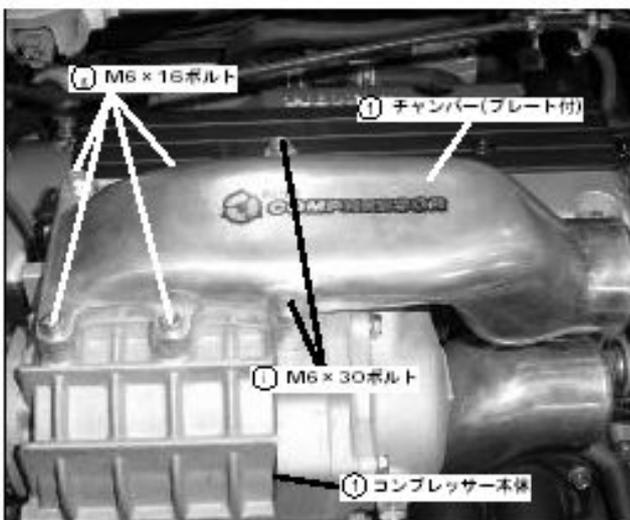
(ク) ⑫ アジャスターボルトをゆるみ方向に回し、テンションをかけ、たわみ量を調整し、⑬ M10ナットを締付ける。

※ トルク=35N・m(3.5kgf・m)

注意 1 下の表を参考に、Vベルトたわみ量を調整して下さい。

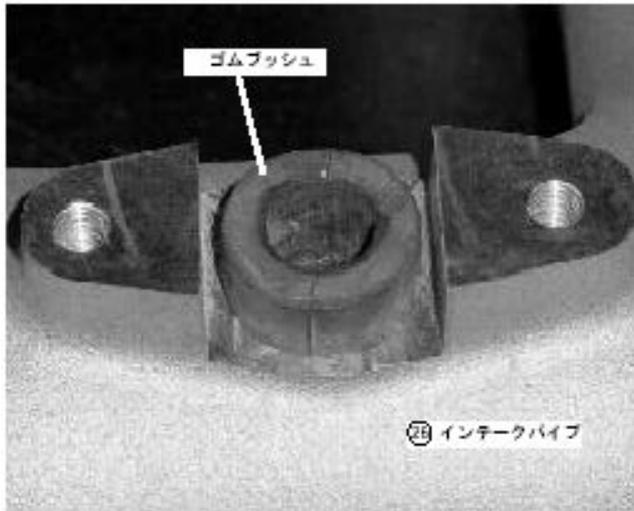
	新品取付時(mm)	点検時(mm)
Vベルト	7~8.5	11~13

注意 2 ⑫ アジャスターボルトを緩め方向に回すと、⑬ テンショナープーリが矢印の方向に移動し、⑭ Vベルトにテンションがかかります。



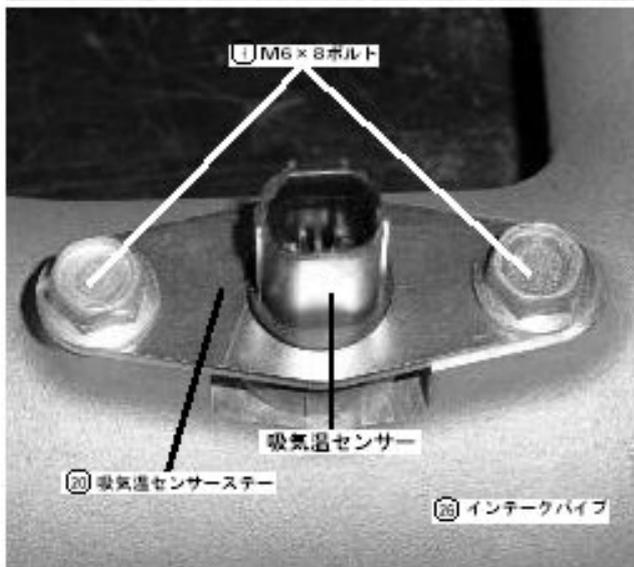
(ケ) ② チャンバー(プレート付)を① コンプレッサー本体に⑬ M6×16ボルト(4箇所)と⑭ M6×30ボルト(2箇所)で締付ける。

※ トルク=9.0N・m(0.9kgf・m)



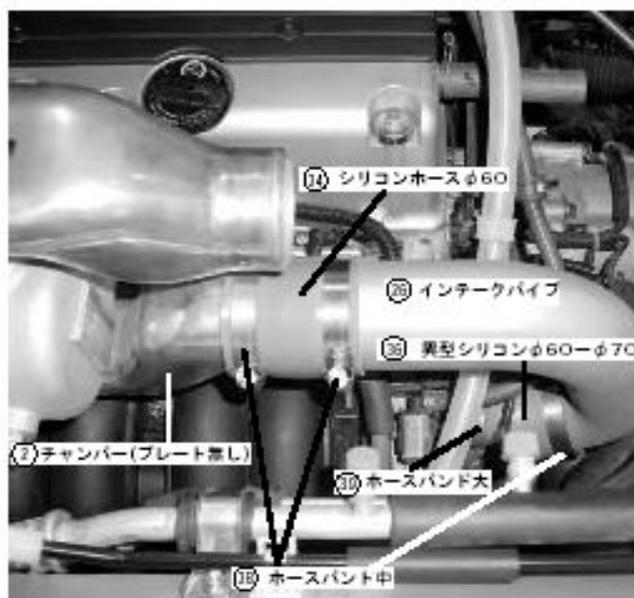
(6) 吸気系

(ア)7ページ(エ)で純正エアクリーナーボックスから取外したゴムブッシュを、**(26)** インテークパイプにはめ込む。

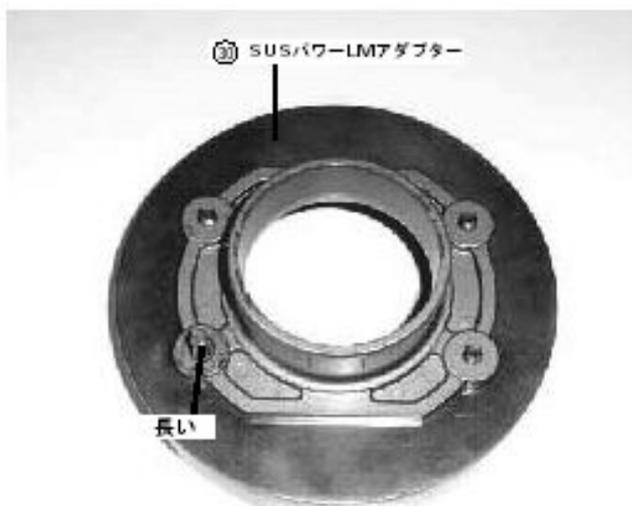


(イ)ゴムブッシュを差し込んだ**(26)**インテークパイプに7ページ(ウ)で外した純正吸気温度センサーを、ゴムブッシュに差し込む。差し込んだら、上に**(20)**吸気温度センサーステーをかぶせ、**(f)**M6×8ボルトで締める。

※ トルク=7.0N・m(0.7kgf・m)



(ウ)左図の様に**(26)**インテークパイプを**(34)**シリコンホースφ60、**(36)**異型シリコンφ60-φ70、**(38)**ホースバンド中、**(39)**ホースバンド大、を使用して取付ける。



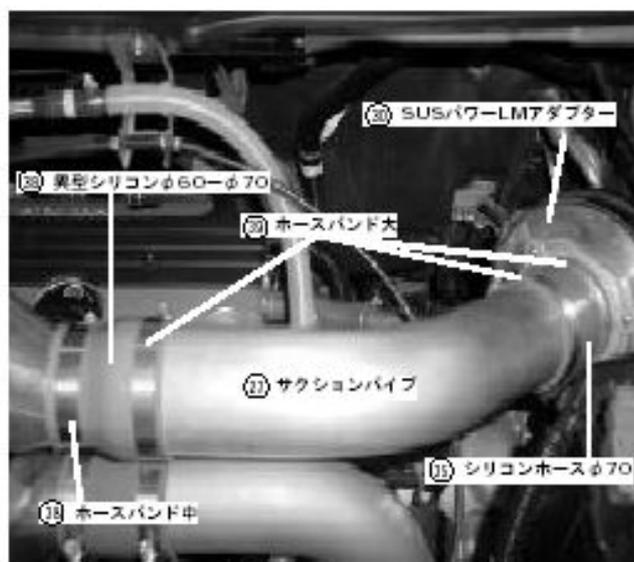
(エ) ③⑩ SUSパワーLMアダプターを写真を参考に組み立てる。

ボルトは③⑩ SUSパワーLMアダプターと同じ袋で梱包されたクロムメッキのボルトを使用します。

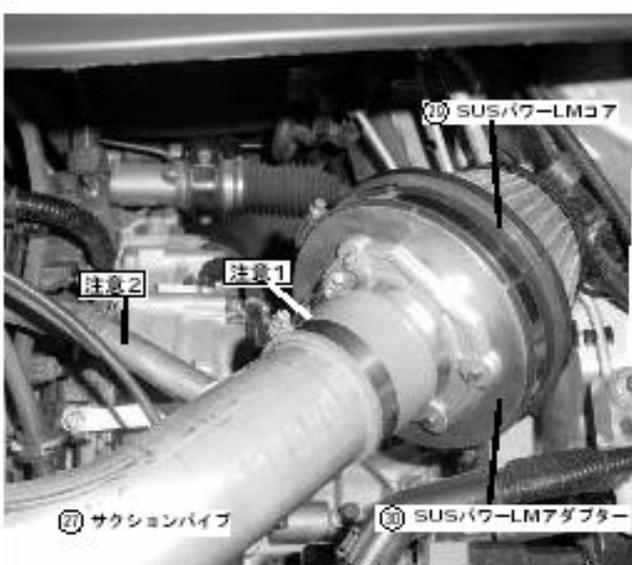
写真を参考に左下のボルトは首下の長いボルトを使用します。

※ トルク=9.0N・m(0.9kgf・m)

注意 車両取付後、ボルトが外れますとコンプレッサー、エンジン破損に繋がりますので確実に締め付けてください。



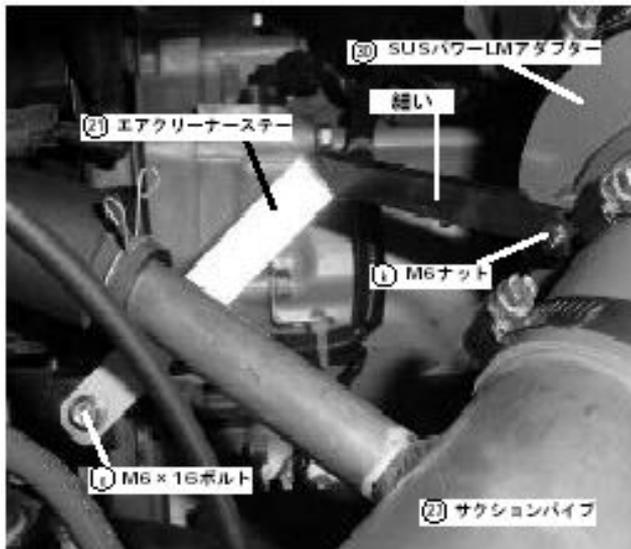
(オ) 図の様に、②⑦ サクションパイプを③⑩ SUSパワーLMアダプター、③⑩ シリコンホースφ70、③⑩ 異型シリコンホースφ60-φ70、③⑩ ホースバンド中③⑩ ホースバンド大を使用して取付ける。



(カ) ②⑨ SUSパワーLMコアを、③⑩ SUSパワーLMアダプターにはめ込み、ホースバンドで締付する。

注意1 ステアが付きますので ③⑩ SUSパワーLMアダプターの長いボルトの部分が写真の位置にくるようにして下さい。

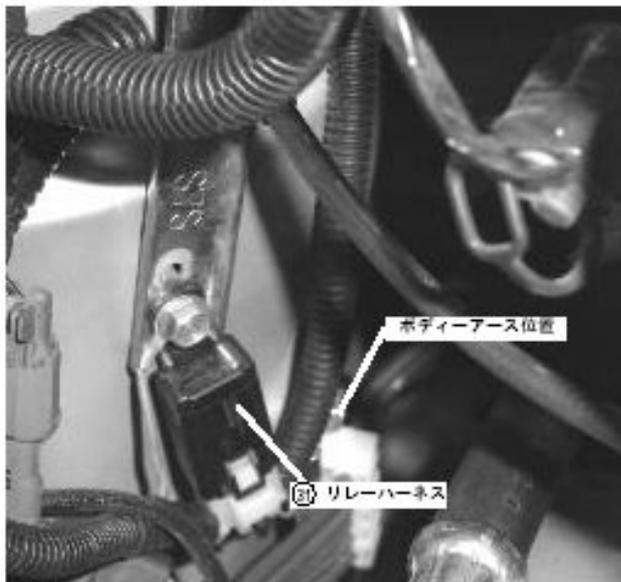
注意2 純正ブローパイホースを③⑩ サクションパイプに差込でください。



(キ) ㉓ SUSパワーLMアダプターの長いボルトの箇所と、純正クリーナーボックス用ステーの写真の位置に、㉑ エアクリーナーステーを ㉔ M6×16、㉕ M6ナットで取付て、位置が決まりましたら、仮止めだったホースバンドを本締する。

注意 ㉑エアクリーナーステーは細い方が、㉒SUSパワーLMアダプター側に取付ます。

注意 ㉑エアクリーナーステーが取付位置と合わないときには、㉒SUSパワーLMアダプターを回して調整して下さい。



(7) リレーハーネス、スイッチの取り付け
(ア) ㉖ リレーハーネスをコンプレッサーから出ているハーネスカプラーに接続してください。

(イ) リレー本体を図の純正ボルトで共締めし固定してください。

(ウ) カプラーから出ている赤線(6mm丸端子側)を図のボディーアース位置に取付けしてください。

(エ) リレー本体から出ている赤線(8mm丸端子側)をバッテリープラス端子側に接続してください。

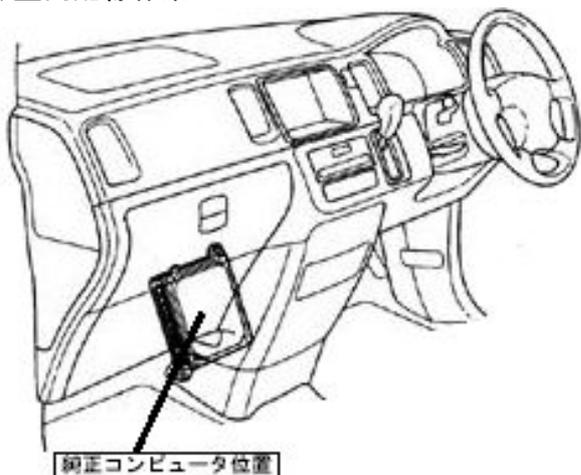
(オ) リレー本体から出ている青線を助手席側から室内に引き込んでください。

注意 ハーネスがブーリ、Vベルト等の可動部に干渉しないように注意して下さい。

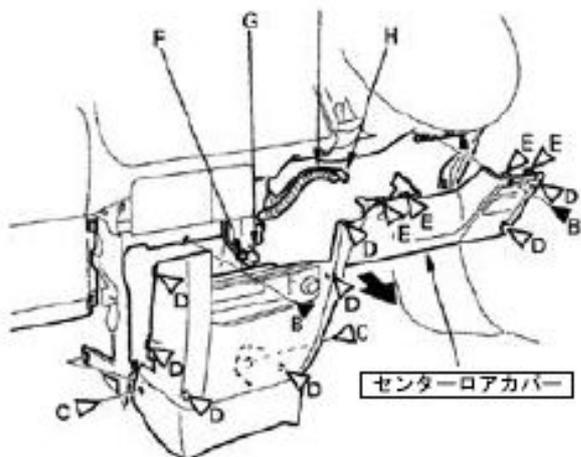
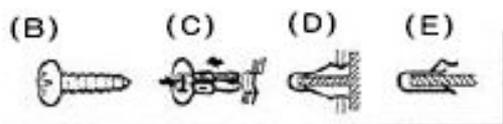
注意 バッテリーに接続する線とボディーアースする線を間違えないでください。

注意 ハーネスは、㉗ コルゲートチューブを使用してまとめてください。

(カ)室内配線作業

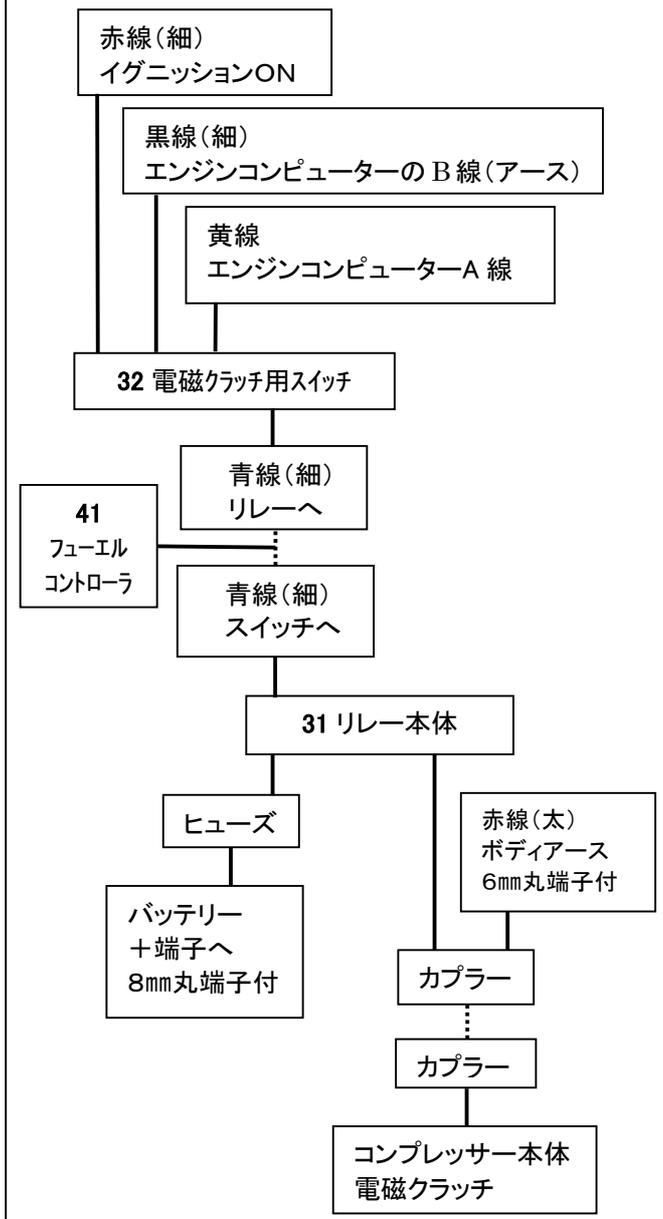


① 左図の位置にコンピュータがあります。

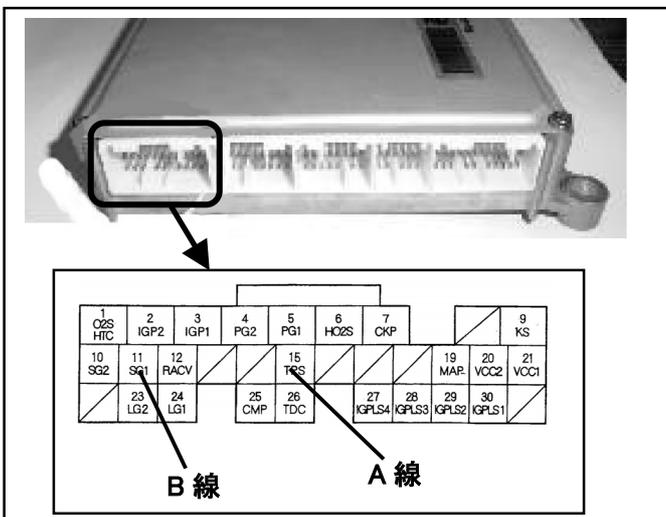


② センターロアカバーを取外します。まず、スクリュ(B)及びクリップ(C)を外してください。その後、センターロアカバーを手前に引き出してクリップ(D)、(E)を外してください。(D)、(E)が外れましたらゆっくり手前に引き寄せ、シガレットライターカプラ(F)、(G)を取り外してください。オートA/C装着者は、内気温センサーカプラ(H)及びエアホース(I)を外し、センターロアカバーを取外してください。

電磁クラッチ用配線図



- ③ ③② 電磁クラッチ用スイッチの黄線を、下図の ECU 配線図の A 線にエレクトロタップ(1ヶ)を使用して接続する。
- ④ ③② 電磁クラッチ用スイッチの黒線(細)を、下図の ECU 配線図の B 線(アース)に、エレクトロタップ(1ヶ)を使用して接続する。
- ⑤ ③② 電磁クラッチ用スイッチの赤線(細)を、イグニッション ON 電源線に、エレクトロタップ(1ヶ)を使用して接続する。
※赤線(細)は、適当な長さに切って使用してください。
- ⑥ 付属のギボシ・スリーブセット(1ヶ)を使用して、③② 電磁クラッチ用スイッチの青線を、⑥で室内に引き込んだ③① リレーハーネスの青線と接続する。



(8) ④①フューエルコントローラ、④②O2センサーコントローラ取り付け

①下図の ECU 配線図に従って、④①フューエルコントローラ配線、④②O2センサーコントローラ配線と純正 ECU 配線および③②電磁クラッチ用スイッチの青線を、エレクトロタップ、ギボシを使用して、接続します。

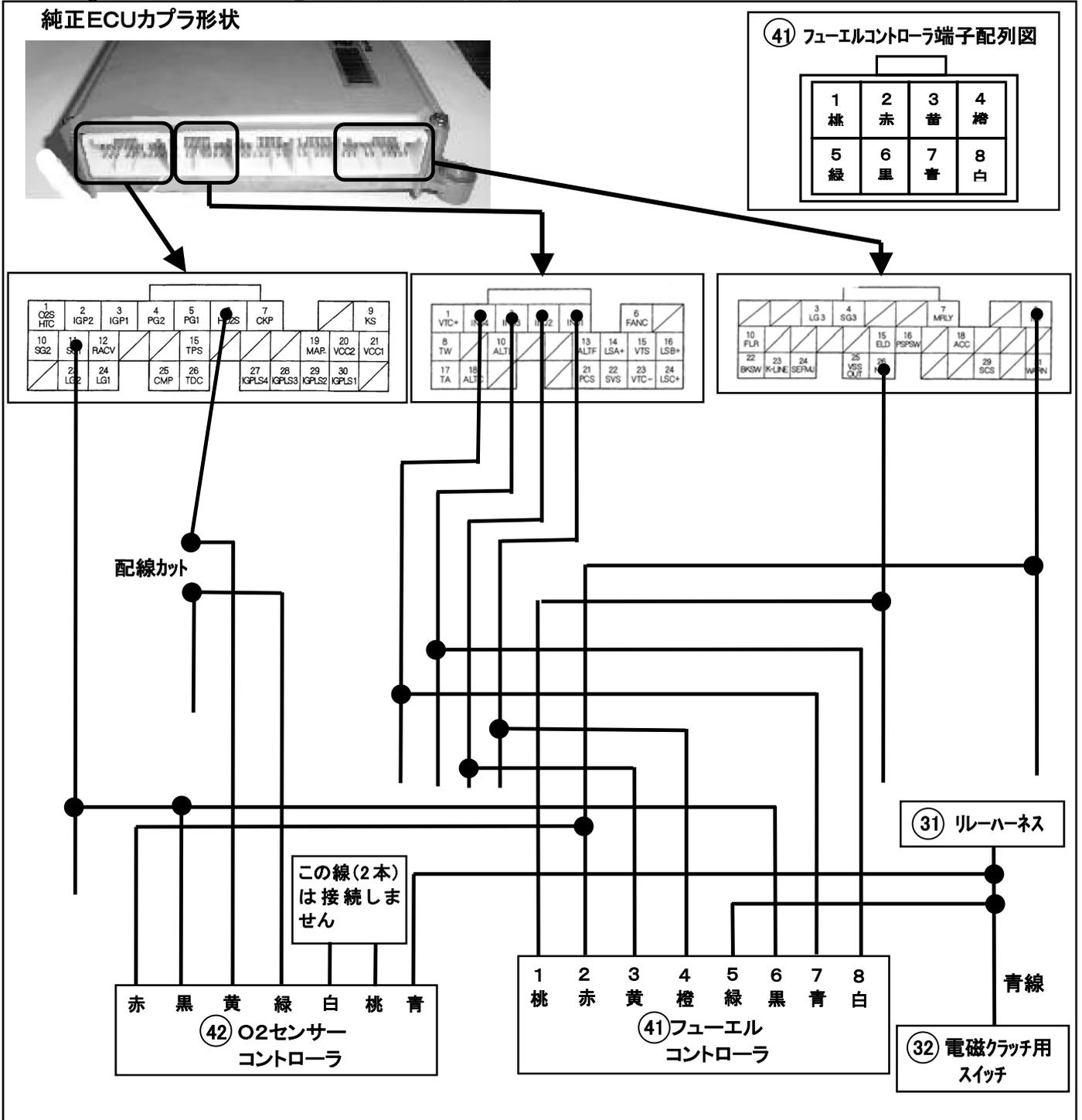
※配線の断線・接続不良には、十分注意して、作業してください。最悪の場合、エンジン破損の原因となります。

② ④①フューエルコントローラを純正コンピューターの上側に貼り付ける。

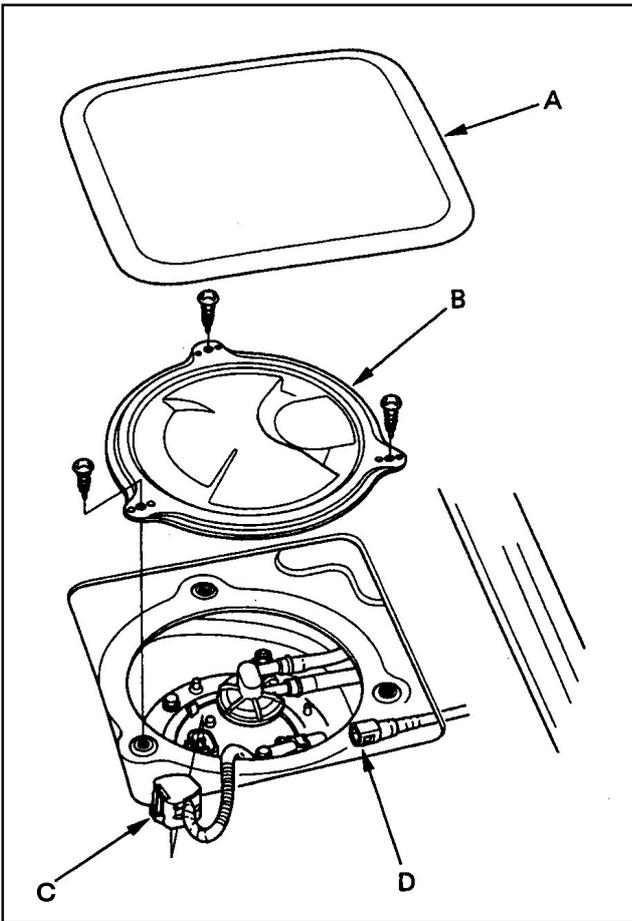
③配線類を、タイラップ S を使用して、固定する。

※高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。

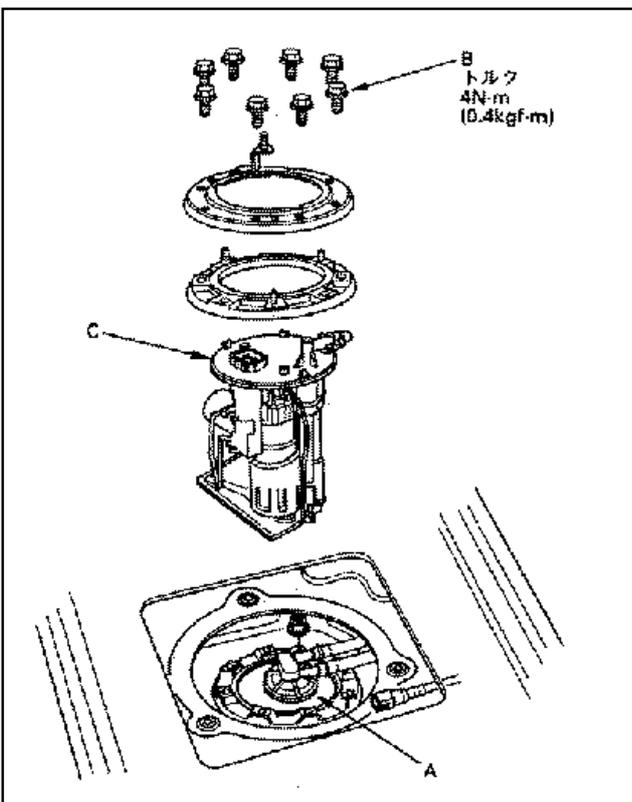
④センターロアカバーを元のように取り付ける。



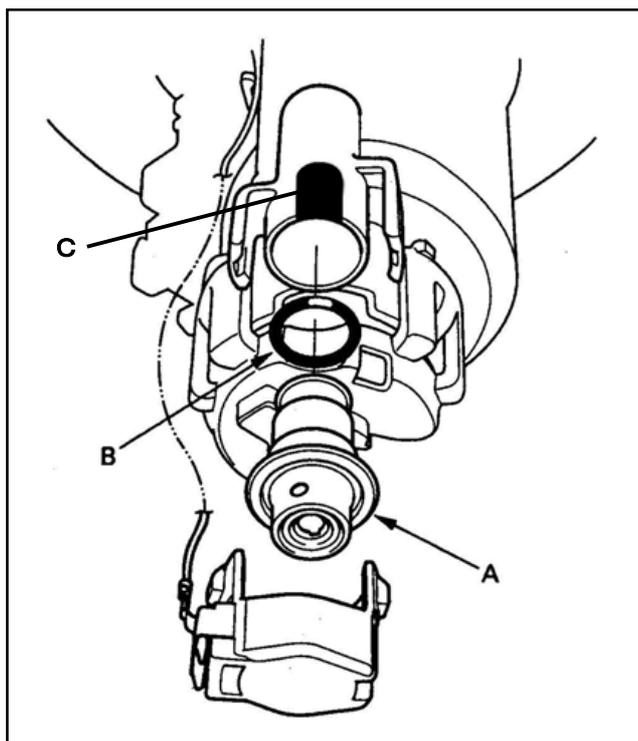
(9)レギュレーター交換



- (ア)セカンドシートを前方にスライドさせ、カーペット(A)をはがす。
- (イ)メンテナンスリッド(B)を取り外し、フューエルポンプ5Pカプラ(C)を取り外す。
- (ウ)バッテリーマイナス端子を一度取り付け、エンジンを始動し、自然に停止した後、イグニッションOFFにし、再度バッテリーマイナス端子を取り外す。
- (エ)フューエルフィラキャップを外し、フューエルタンク内の圧力を抜く。
- (オ)クイックコネクタ式フューエルチューブ(D)を外す。



- (カ)取り付けナット1本を外し、2ウェイバルブ(A)を取り外す。
- (キ)ボルト(B)を外し、フューエルポンプASSY(C)を取り外す。



(ク)フューエルポンプASSYより純正レギュレーター(A)を取り外す。

(ケ)図中(C)部分を(43)レギュレーターの突起部分に合わせて、棒ヤスリなどを使用して加工する。

(コ)加工した部分に(43)レギュレーターの突起部分を合わせ取り付ける。

注意・加工した部分でOリングを傷つけないよう十分注意して作業してください。

- ・加工後はフューエルポンプASSYを十分洗浄し、加工粉などを完全に除去してください。

- ・加工粉などがフューエルポンプASSY内に残っているとエンジン始動不良、エンジン不調等の原因になる場合があります。

(サ)取り外しと逆の手順で、フューエルポンプASSYを取り付ける。

(シ)クイックコネクタ式フューエルチューブを取り付ける。(ス)フューエルポンプ5Pカプラを取り付け、メンテナンスリッドを取り付ける。

(ス)カーペットを元通りに戻す。

(セ)フューエルフィラキャップを取り付ける。

(ソ)バッテリーのマイナス端子を取り付ける。

(タ)イグニッションキーをONにし、アクセルペダルを踏み込み、途中でコンプレッサープーリーのクラッチがONになる事を確認する。

※エンジンを始動しなくてもクラッチはONになります。

(チ)パワステタンクに新しいフルードをMAXまで補給する。

(ツ)エンジンを始動し、パワステタンク内の油面が安定するまで補給する。

(テ)エアが出なくなるまでハンドルを左右いっぱいゆっくり回し、エア抜きを行う。

(ト)フルードの量を再度点検し、上限線まで補給する。

注意 フルードが上限線を越えないように注意してください。

以上で、本キットの取り付けは終了です

[6]取り付け後の確認

■ エンジン始動前の確認

- ・ パイプ、ホース等配管及び配線に間違いがないか確認してください。
- ・ ボルト、ナット類の締め忘れがないか確認してください。
- ・ ガソリンはハイオクガソリンが入っているか確認してください。

■ エンジン始動後の確認

- ・ コンプレッサーから異音等がないか確認してください。
- ・ 軽く空ぶかしをおこない、Vベルト、コンプレッサー等に異常がないか確認してください。(ベルトのスリップ、歯とび)
- ・ 冷却水、燃料、オイル等の漏れがないか確認してください。

[7]メンテナンス

快適に運転していただく為、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。
尚、本キットを取り付けた後に維持、管理する項目については必ず実施してください。

■ コンプレッサーキット装着時の維持、管理項目

- ・ エンジンオイルの定期的な交換(推奨 5000Km以内で交換)
 - ・ エンジンオイルフィルターの定期的な交換(推奨 10000Km以内で交換)
 - ・ ハイオクガソリンの使用(レギュラーガソリンは絶対に使用しないでください)
- ※キットには専用ハイオクステッカーを付属しています。給油口内側に貼り付ける事をお勧めします。

■ Vベルトのメンテナンスについて

本コンプレッサーキットでは、Vベルトを利用しコンプレッサーを回転させ、過給を発生させています。定期的にVベルトの点検・張りの調整を行ってください。

- ・ Vベルトの点検・張りの調整 推奨5000kmで点検・調整
※Vベルトは、新品初期に一番伸びる特徴があります。新品Vベルトを取り付けた際は500km以内で、張りを調整して下さい。
- ・ Vベルトの交換 Vベルトの交換サイクルは車両の状態・運転の状況により異なります。Vベルトにヒビ、亀裂、歯とび等の劣化が確認された場合には交換をお勧めします。
※Vベルトの点検・張りの調整を行わない場合、Vベルトがスリップしてしまう事があります。Vベルトがスリップしている状態ではコンプレッサー本来の性能を発揮できない場合があります。

[8]推奨パーツ

- ・ Vベルト(4PK650) コードNo. 10129-024

●製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせは、お電話またはFAXにて下記宛てにお願いします。

■連絡先 (株)ブリッツ ■TEL 0566-79-2200

■住所 愛知県安城市高棚町大道40-1 ■FAX 0566-79-2070

製造・発売元	株式会社 ブリッツ
取扱説明書番号	10129006
初版作製年月日	2003. 12. 1

BLATZ